

宮古発

「みゃっこ隊」パネル展

宮古への復興支援を続けている東京都品川区の取り組みを紹介したパネル展が、宮古市役所で開かれています。パネル展には、品川区の職員有志の会、「みゃっこ隊」をはじめとするこれまでの活動の写真や品川区民からの応援メッセージなどが展示されています。品川区は毎年行われている目黒のさんま祭りが縁で宮古市と災害時の相互援助協定を結び、震災後は区の職員派遣やボランティア、東京での特産品販売など復興支援を続けています。パネル展は14日まで開かれています。(2/7 ニュースエコー)



陸前高田発

日本酒の仕込み

陸前高田市の酔仙酒造では市民も参加し、日本酒の仕込み作業が行われました。仕込みを行ったのは特別純米酒の「多賀多」です。このお酒は地元の農家が栽培している無農薬のひとめぼれを原料としていましたが、震災で水田が被災し、お米の調達が出来なくなり醸造を休止していました。昨年、この農家がコメづくりを再開したことから再び「多賀多」の製造を行ったものです。参加した人たちは2回の仕込みを経たタンクに、米麴と蒸米を投入し、かきまぜる作業を体験しました。このお酒は3月上旬に発売される予定です。

(2/7 ニュース)



陸前高田発

行方不明者捜索



まもなく東日本大震災発生から3年を迎えますが、岩手県内では1月末現在で1142人の行方がわからないままです。今週、沿岸の5つ

の市と町で行方不明者の集中捜索が行われています。このうち陸前高田市では、県外から出向している職員を含む大船渡警察署員16人が捜索を行いました。当初は漁港周辺を捜索予定でしたが、波が高いため気仙川周辺に場所を移し、熊手などを使い小さな手がかりも見逃さないよう丁寧に捜索を行っていました。(2/11 ニュースエコー)

山田発

震災慰霊碑建立

山田町中心部にある龍昌寺に東日本大震災の慰霊碑が建立されました。境内には遺族な



どおよそ50人が集まり、高さ70センチの聖観音像が安置されている慰霊碑に手を合わせ犠牲者の供養を行いました。また、本堂では月命日の法要が営まれました。(2/11 ニュースエコー)



大槌発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMのすみれさんが、今月8日に行われた「大槌町応援職員の会」の会合について伝えてくれました。大槌町には震災後全国から応援職員が来て、それぞれ滞在期間や仕事は違うものの支援を続けています。今回はそのうち約60人が集まり総会と懇親会を開きました。久しぶりに大槌を訪れた人もいて、「少しずつでも復興が進んでいると感じられて嬉しい」「離れていても応援しています」と話していたそうです。その他、元気な地域づくりを話し合う「ひよっこりひょうたん島サミット」の話題なども伝えてくれました。(2/12)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122